

製品名: RANBP9 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81365**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC 1:50-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	77.8kDa

抗原情報

遺伝子名	RANBP9
別名	BPM-L; BPM90; RANBPM; RanBP7
遺伝子 ID	10048.0
SwissProt ID	Q96S59
免疫原	大腸菌で発現したヒト RANBP9 (AA: 453-680) の精製された組み換え断片。

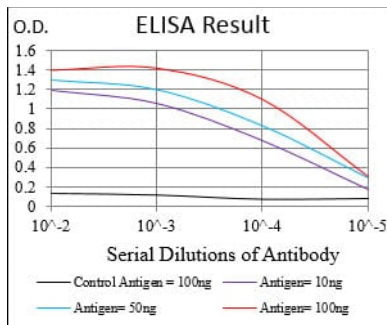
背景

この遺伝子は、RAS スーパーファミリーに属する低分子 GTP 結合タンパク質である RAN に結合するタンパク質をコードしており、核膜孔複合体を介した RNA およびタンパク質の輸送に必須です。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、met プロトオンコ

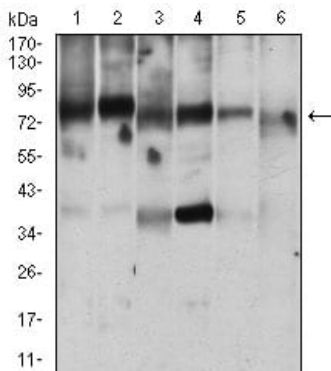
ジーン、ホメオドメイン相互作用タンパク質キナーゼ2、アンドロゲン受容体、サイクリン依存性キナーゼ11など、他のいくつかのタンパク質とも相互作用することが示されています。

研究分野

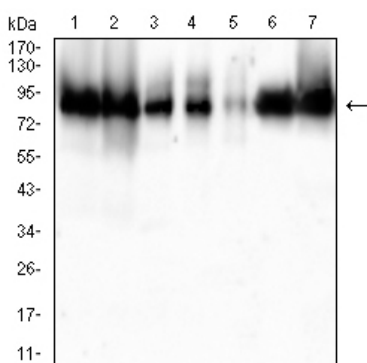
画像データ



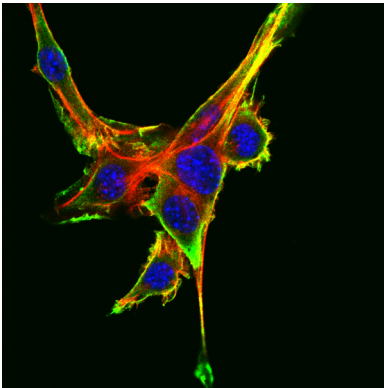
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



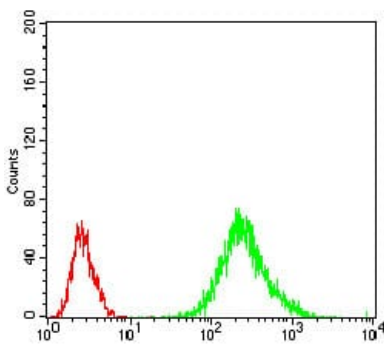
RANBP9 マウス mAb を用いた Jurkat (1)、MOLT4 (2)、HEK293 (3)、A431 (4)、A549 (5)、NIH/3T3 (6) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



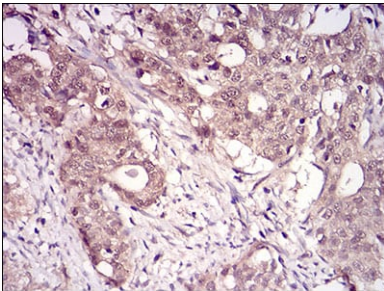
RANBP9 マウス mAb を用いた PC-129(1) Raw264.7(2) NIH/3T3(3) NRK(4) C2C12(5) F9(6) COS-7(7)細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



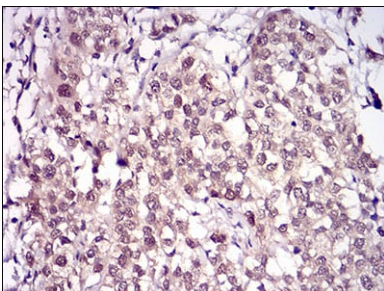
RANBP9 マウス mAb (緑) を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



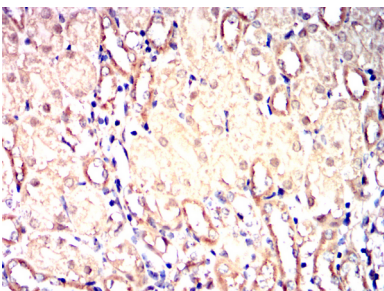
RANBP9 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



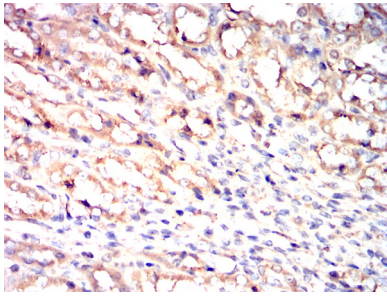
RANBP9 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



RANBP9 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



RANBP9 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス腎臓の免疫組織化学分析。



RANBP9 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ラット腎臓の免疫組織化学分析。